

平成 27 年 12 月 1 日

月読台自治会 御中
五十鈴ヶ丘団地自治会 御中

宗教法人 神慈秀明会
名古屋支部伊勢拠点
建設委員 杉崎 定夫

「神慈秀明会伊勢拠点建設に関する指摘事項に対するご回答」

先日「津市教育文化会館説明会において指摘された事項」(平成 27 年 11 月 18 日)について、下記の通りご回答申し上げますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

記

1. 拠点建設に関する指摘事項について

1) 通学路の安全が確保されるのか

建設予定地の通りは、五十鈴中学校の通学路になっており、集会で多くの人が集まることになれば、通学時の安全が心配されます。

ご回答:通学路の交通安全対策について

集会(行事)の際に使用する駐車場は5台のみとなりますので、通行に支障をきたさないように整理員を配備いたします。また、駐車場を使用する5台以外の者は、公共交通機関を利用いたします。

2) 布教のあり方に不安がある

布教のあり方も戸別訪問はないと聞いているが、少なくとも布教はあるはずであり、布教のあり方が心配であります。

ご回答:布教のあり方について

布教のあり方については、戸別訪問および配布物配り等はございません。地域住民の方にご不安を与えるようなあり方は自粛させていただきます。

3) 「月読宮」を眼下に見下ろす位置は好ましくない

貴会の集会所建設予定地は、伊勢神宮の別宮である「月読宮」を眼下に見下ろす位置にあるため、地域住民の心情は穏やかではありません。また、五十鈴川駅方面には、幾つかの宗教施設が建っていますが、「月読宮」よりも下手であり、墓地の隣接地など控え目になっています。

ご回答:拠点建設の位置について

「月読宮」は、神定めにより元々現在の地にお鎮まりなられたものと思われまます。既に、住民の方々も「月読宮」より上手に住まわれておられます。

「月読宮」を眼下に見下ろすことに配慮して、植樹および窓の位置等の設計に配慮させていただきます。

2. 拠点建設に関するご理解とお願いについて

来年には、主要国首脳会議（サミット）が伊勢志摩において開催されることが決定しています。今の日本は、少し信仰心が薄れているように感じますが、世界の人々は、仏教・キリスト教をはじめ、多くの人々が厚い信仰心を持っています。大統領であっても、聖書に手を乗せて宣誓されているのが世界の現状であります。

日本は、古来より八百万の神への信仰心を持ち、八百万の神様を受け入れる寛大な国民であります。他宗教や他文化を理解し、共に協力して世界の平和のために努力していくことが、今の世界に求められているのではないのでしょうか。何卒、世界の首脳陣を迎え入れられる、寛大な心で、伊勢拠点建設へのご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以上